

経営比較分析表（令和2年度決算）

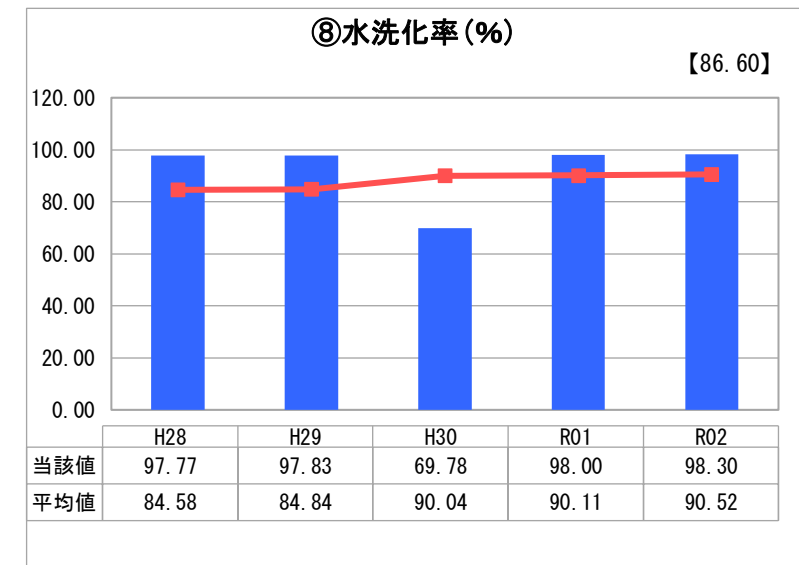
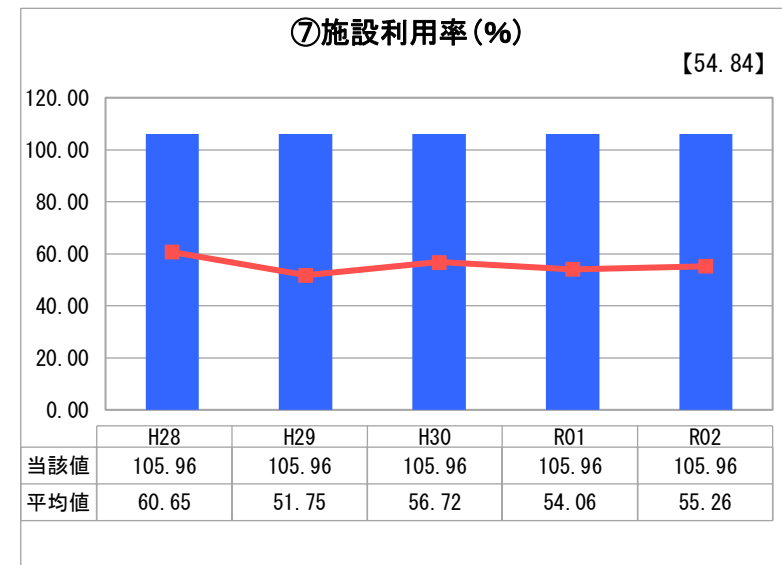
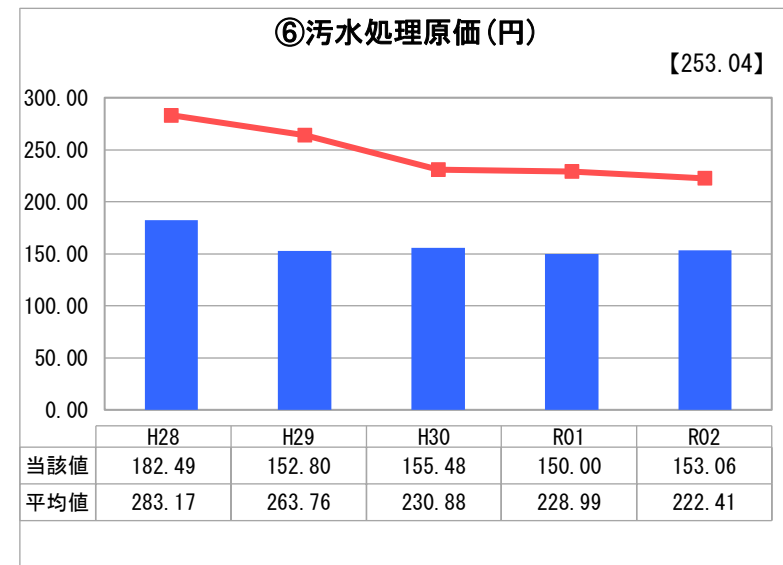
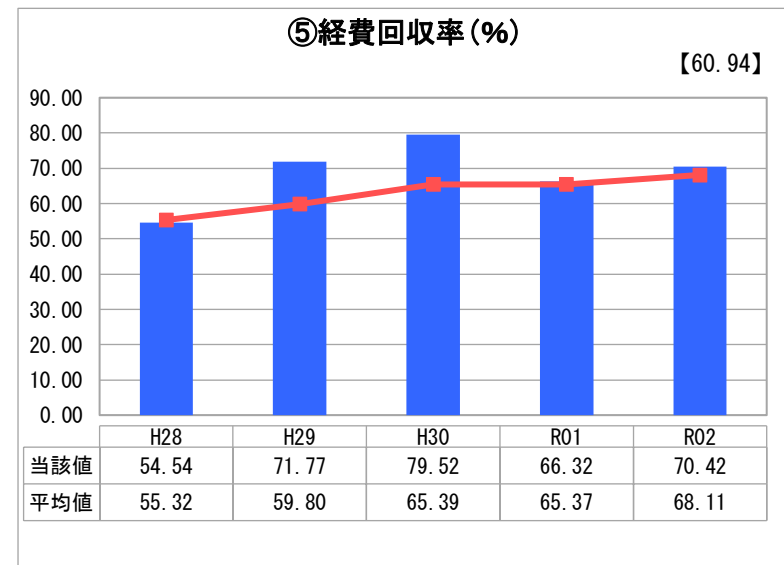
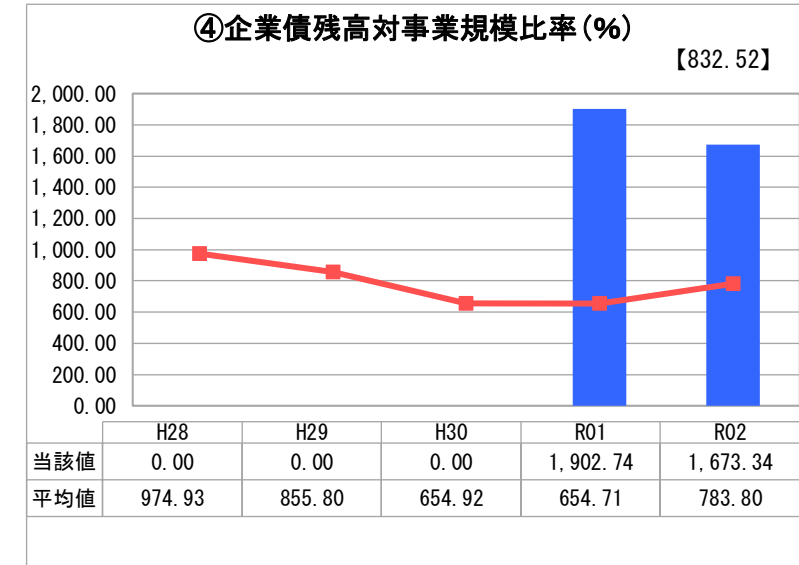
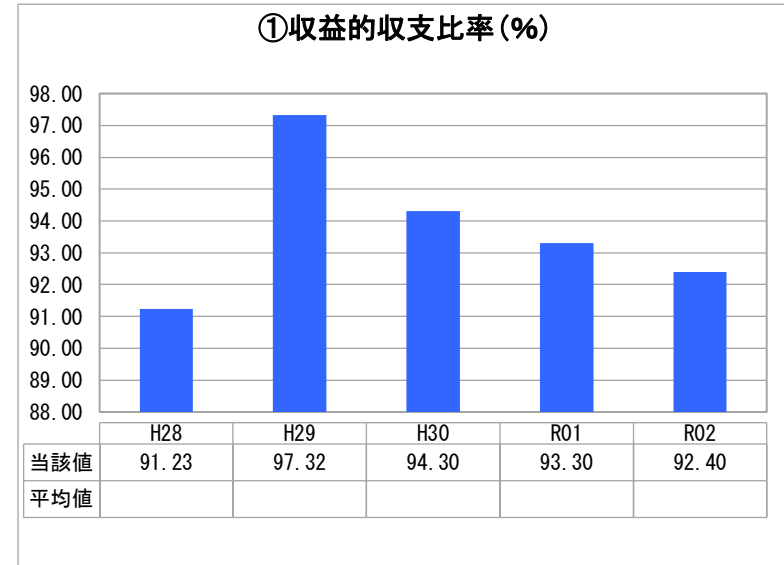
栃木県 芳賀町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	19.96	98.00	3,561

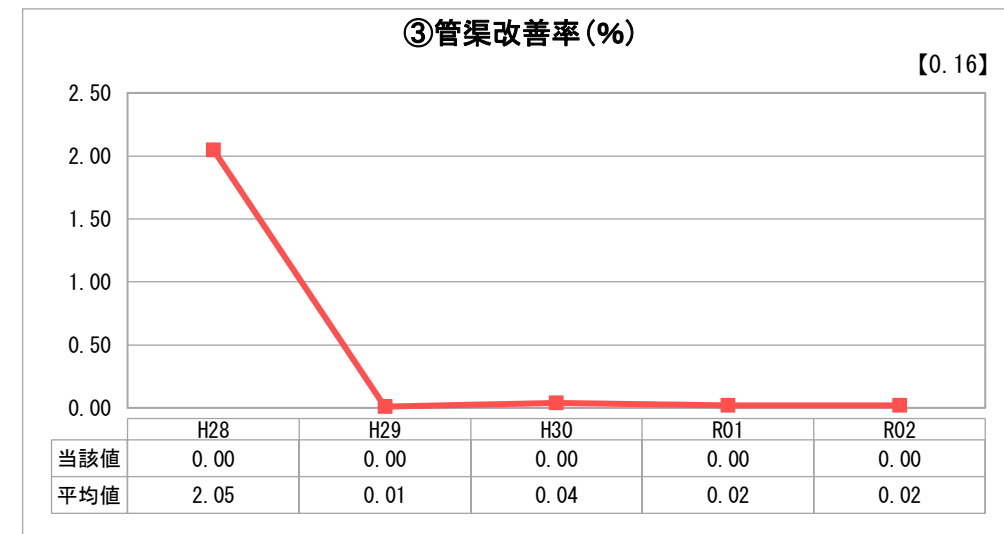
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,612	70.16	222.52
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,109	1.50	2,072.67

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

芳賀町の農業集落排水事業は、稲毛田・城興寺・上給・五行・東水沼・社后・八ツ木・下高中部の全8地区で採択されており、全地区において整備は完了している。現在は維持管理が主であり、劣化した施設機器の修繕や交換を計画的に進めている。

収益的収支比率については、東日本大震災の影響が大きく、震災後しばらくは低い状態が続いていたが、平成30年度、令和元年度は90%台半ば近くまで回復している。その後低下傾向にある。

経費回収率については、平成28年度には54.54%まで低下したものの、令和2年度は70.42%であり、漸進的な回復傾向にある。

加入率が高く、全地区整備完了していることから、新規加入による増収は見込めず、人口減少に伴い、使用料収入は今後減少していくことが予想される。一方、施設の老朽化等による修繕の支出は増加が見込まれるため、使用料の見直しなどにより、今後適正な料金収入を検討していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

稲毛田地区、上給地区、城興寺地区、五行地区は町内8地区の中でも供用開始が早く、使用年数が30年程度となっている。不明水のある箇所については、調査を実施し管渠修繕を進めていく予定である。

老朽化した管渠については、計画的な更新を検討していく。

全体総括

町内全8地区の整備が完了しており、新規加入等による大幅な増収などは見込めないため、今後は更なる費用削減を検討するとともに、汚水処理に係る費用を賄うためには、適正な使用料を確保すべく、使用料の徴収方法や料金体系の見直しを検討する必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。